

十勝地区 教育経営研究会

1 目 的 北海道小学校長会・北海道中学校長会、及び地区校長会が抱えている教育経営上の具体的な課題を取り上げ、その解決の方途を法制研究の視点から探る。

2 主 催 北海道小学校長会 北海道中学校長会

3 後 援 北海道教育庁十勝教育局
十勝管内教育委員会連絡協議会
(公財)日本教育公務員弘済会北海道支部

4 主 管 十勝小・中校長会 帯広市校長会

5 日 時 令和7年10月10日(金)

6 会 場 幕別町札内コミュニティプラザ

7 参加者 十勝管内小中学校長会員他(134 名)

8 日 程	12時20分～12時50分	受 付
	12時50分～13時20分	開 会 式
	13時20分～14時10分	全 体 会
	14時20分～16時30分	分 科 会
	16時30分～16時40分	閉 会 式

9 全体会

情報提供告

- ① 道小・道中の取組について
- ② 教育情勢 ～当面する学校経営上の課題～

説明：北海道小学校長会 事務局長 稲上 敏男 氏

その他、各種報告

- ① 「本道における校内支援センターの設置状況について」
説明：北海道小学校長会 経営部副部長 八田 博之 氏
- ② 「引率旅費及び研修旅費についての今後の予算の増額の見通し」
「新採用教員の人材確保、並びに再任用教職員の給与・手当の今後の見通し」
説明：北海道中学校長会 情報部副部長 鏡 武志 氏

10 分科会

(1) 小学校第1分科会

〈提言〉 音更町立西中音更小学校長 美馬 弥生

① 提言の概要

「危機管理のこれから ～学校に問われる備えと判断～」

ア 学校における危機の事前予防の多様化

イ 危機管理における校長の役割

② 協 議

ア 危機管理は、児童生徒だけではなく、教職員や学校全体を守る視点が重要である。校長は法的根拠に基づいてリーダーシップを発揮し、組織的に対応する必要がある。

イ 危機管理は、①事前(予防と構え)②発生時(即応と判断)③事後(対応と再発予防)の3段階で考えることが重要である。

(2) 小学校第2分科会

〈提言〉 帯広市立北栄小学校長 佐藤 晃啓

① 提言の概要

地域との連携・協働の在り方

ア 地域との連携・協働の法的根拠と実際

イ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

② 協 議

ア 地域との連携・協働においては、特定の熱心な地域の方に依存する傾向があり、持続可能な体制を構築する必要がある。

イ 保護者からの理不尽な要求に対しては、法的根拠を踏まえ毅然とした対応をとる必要があるが、まずは、そういう事態に陥る前に、学校として親身に対応する姿勢が大切である。

(3) 中学校分科会

〈提言〉 音更町立共栄中学校長 渡辺 弘司

① 提言の概要

効果的で持続可能な「働き方改革」の推進を目指して

ア 自分ごととしての「働き方改革」 「意識が変われば行動が変わる」

イ コアチーム(校務運営委員会)を中心に協議し、実効性のある取組を推進

② 協 議

ア 教職員が「自分ごと」と感じ、自発的に取組を推進できる体制を整えるには、何らかの形でその効果を実感する経験が必要である

イ 教職員が心身の健康を保ち、数ある学校課題を自走して解決できるような職場環境を整えることが大切である。

11 閉会式(分科会ごと)

十勝教育局 遠藤 真理次長様、中井 哲義務教育指導監様、齊藤 真寛教育支援課長様から、各分科会でご助言をいただき、笠松 真一郎十勝小・中校長会副会長(小1分科会)、鈴木 宏和帯広市小学校長会副会長(小2分科会)、佐々木 典郎十勝小・中校会副会長(中学校分科会)の挨拶で閉会。